

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	2	学年・学科	2学年・D科
教科書	副教材						

学習目標	(1)手芸の種類と特徴及び変遷,各種手芸の技法などについて理解するとともに,関連する技術を身に付ける。 (2)手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し,手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身につける。 (3)手芸品の製作を目指して自ら学び,創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む。
学習方法	・縫製、刺繍、編み物、その他の手芸などについて、実際の作品を見たり、触れたりなどして手芸の技法や特徴を理解します。 ・各種手芸や縫製を通して、基礎的な技術を習得します。 ・さまざまな手芸の特徴や課題を理解した上で、新たな活用法の提案を考えます。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け				
			100%	50%	50%		
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	・縫製の手順や縫製技術を身につけている。 ・手芸品の製作技術を総合的に身につけている。 ・手芸の種類や特徴、変遷などに関する知識を身につけている。	前期	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
			中期	思考・判断・表現	35%	25%	10%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	25%	0%	25%
				100%	50%	50%	
	b 思考・判断・表現	・服飾手芸についての基本的な知識を身につけ、よりよい作品の完成に向けて工夫したり、その方法を選択することができる。 ・服飾手芸の充実向上を図るための実践的な技能の習得ができています。	前期	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
			中期	思考・判断・表現	35%	25%	10%
後期			主体的に学習に取り組む態度	25%	0%	25%	
			100%	50%	50%		
c 主体的に学習に取り組む態度	・手芸の種類や特徴、変遷について興味関心を持ち、実習に主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	後期	知識・技能(技術)	40%	25%	15%	
		中期	思考・判断・表現	35%	25%	10%	
		前期	主体的に学習に取り組む態度	25%	0%	25%	
			100%	50%	50%		
			後期	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
			中期	思考・判断・表現	35%	25%	10%
			前期	主体的に学習に取り組む態度	25%	0%	25%
			100%	50%	50%		

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期 中間	(1)アウターパンツ製作	・アウターパンツのデザインや型紙について学習します。 ・ミシンを使用した縫製方法について学習します。	○	○	○	<a>アウターパンツに関する特徴や製作過程について理解し、技術を身につけている。 型紙を理解し、アウターパンツの前と後ろを考えながら製作することができる。 <c>計画に基づき、期限を守って製作に取り組むことができる。	・授業への参加の仕方や態度 ・作品 ・実習記録 ・創意、工夫 ・定期考査
前期 末	(1)アウターパンツ製作 (2)バッグ製作 (3)フランス刺繍	・バッグのデザインや製作過程について学習します。 ・フランス刺繍の特徴や基本的なステッチ、道具の使い方を学習します。 ・図案を作成します。	○	○	○	<a>バッグの製作過程について理解し、技術を身につけている。また、フランス刺繍の技法や特徴について、基礎的な知識と技術を身につけている。 作成した図案に適した技法を用いて製作することができる。 <c>計画に基づき、期限を守って製作に取り組むことができる。	・授業への参加の仕方や態度 ・作品 ・実習記録 ・創意、工夫 ・定期考査
後期 中間	(4)染色 (5)刺し子 (6)スウェーデン刺繍	・染色の種類とその特徴や技法、また染色によって起こる布の変化について学習します。 ・身近なものを使って染色する方法を学習します。 ・染色した布を活用し、作品を製作します。 ・日本の伝統文化である刺し子と、西洋文化であるスウェーデン刺繍の特徴や歴史について学習します。	○	○	○	<a>染色の種類と技法を理解し、適切に染色することができる。刺し子やスウェーデン刺繍の技法や特徴について、基礎的な知識と技術を身につけている。 さまざまな天然素材を用いた染色について、課題を発見し解決しようと考察している。刺繍の歴史や課題を発見し解決しようと考察している。 <c>計画に基づき、期限を守って製作に取り組むことができる。	・授業への参加の仕方や態度 ・作品 ・実習記録 ・創意、工夫 ・定期考査
後期 末	(7)パッチワーク (8)クラフトバンド	・パッチワークの種類や技法について学習します。 ・クラフトバンドの技法について学習します。	○	○	○	<a>パッチワークやクラフトバンドの素材の特徴を理解し、適切に製作することができる。 技法を使い、アイデアを考え製作することができる。 <c>計画に基づき、期限を守って製作に取り組むことができる。	・授業への参加の仕方や態度 ・作品 ・実習記録 ・創意、工夫 ・定期考査